

医学的記事（関連する多岐疾患を紹介していきます）

アレルギー・喘息関連疾患 Q & A

ブロンコレア

投稿者：Tさん /群馬県/男性

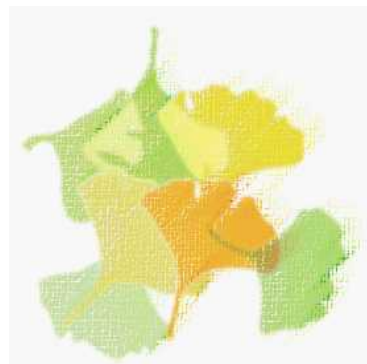
回答：清水 巍（たかし）

HP「喘息を克服するためのページです」の「喘息Q & A」に投稿された質問です。

【質問】

3年前からひどい息苦しさで大量の痰に悩まされ、検査をしてもわからず、いろいろな喘息専門医や呼吸器専門医の先生に見てもらいましたが、軽い喘息や心身症との診断で、喘息の薬や安定剤を処方されましたが効かず、苦しみました。

最近になって、やっと蓄痰でブロンコレアと診断されましたが、手遅れで対症療法しかできないかもしれないとのこと。ブロンコレアを良くすることはできないのでしょうか。



【回 答】

通常の喘息が良くなり治って行く可能性があると同じように、ブロンコレアにしても、良くなり、治る可能性は大いにあります。

ブロンコレアは白卵のすり身のような痰が大量に出る特徴があります。喀痰を分泌する粘液線の活発化や開大の病変を伴った喘息です。気管支喘息にはいろいろなタイプがあります。アルコール喘息もあれば、酸性解熱鎮痛剤喘息、運動誘発性喘息、アレルギー性肉芽腫性血管炎に伴った喘息などいろいろです。

それぞれに対する対策が必要ですが、基本的には喘息をよくし、治すという共通の努力を普通の喘息の人以上に実践すること、良い先生にかかりながら指導を受けてよくなって行くことの二つで良くなるものです。その基本的な努力を忘れて、特別な治療や対策のみを求めて行くだけならば、なかなか治らないであります。

アレルギー性肉芽腫性血管炎に伴った喘息でもブロンコレアでも、私共のところでは何人も良くなりました。前者はプレドニンをどのように使うか、後者は去痰剤や吸入剤をどのように使うかに差や特徴がありますけれども、先に書いた基本的な努力をしっかりとした人は良くなりました。

この喘息 Q&A や掲示板で、ブロンコレアでお悩みになっていた方も何回も書き込んでおられましたけれども、最近は良くなっておられるのだと思います。

喘息のどの病態にしても、特殊な治療だけがあるというものではありません。特別な特殊な治療だけ求めるのではなく、基本的な努力の上に、病状にあった治療をお受けになって下さい。そして良くなる可能性を信じ、その道を切り開いて行って下さい。その暁に克服が可能となるでしょう。